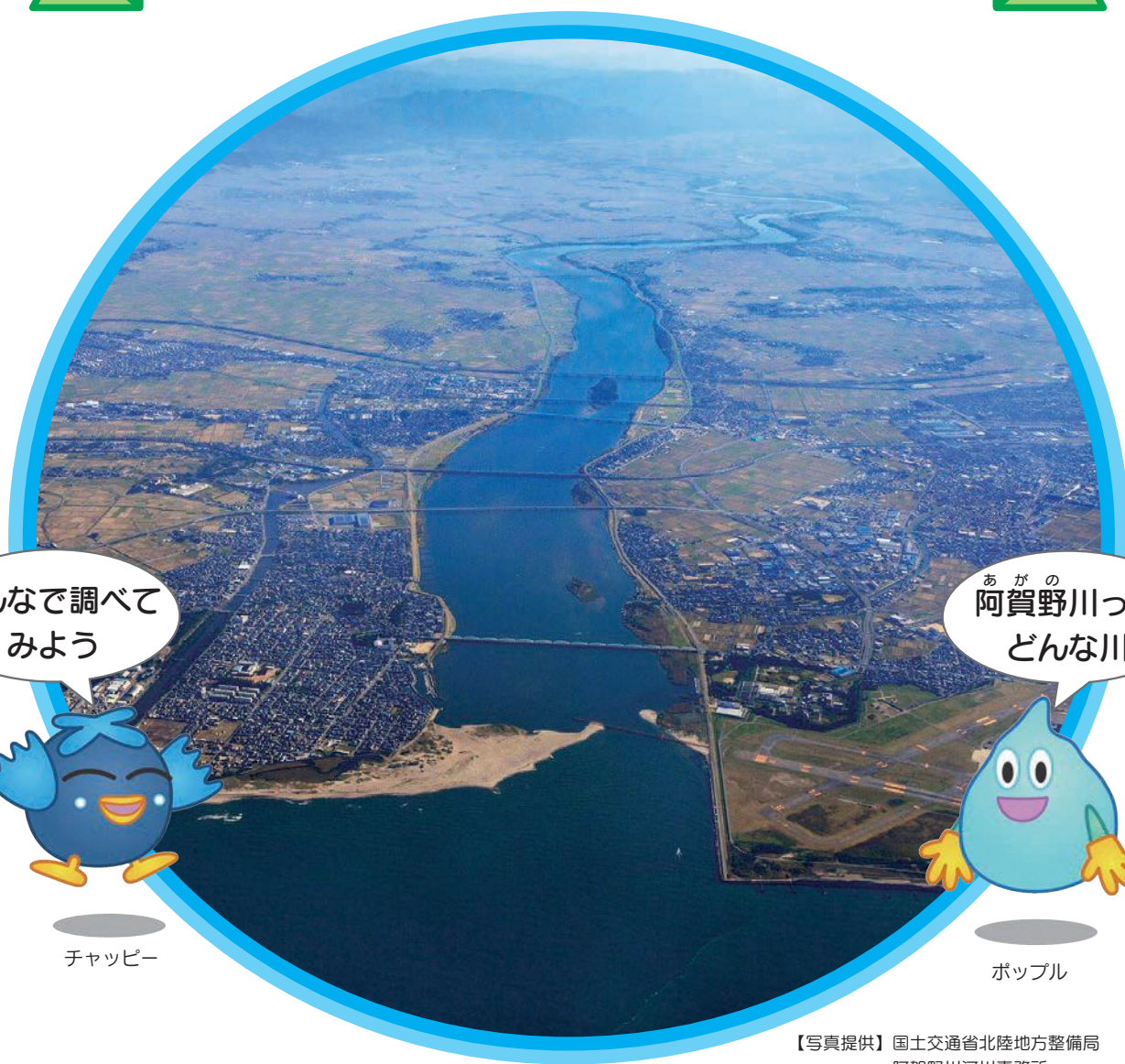


に い が た み な ま た び ょ う
新潟水俣病が
教えてくれたもの

ゆた あ が の し ぜん
豊かな阿賀野川の自然と人



みんなで調べて
みよう



チャッピー

あ が の
阿賀野川って
どんな川



ポップル

【写真提供】国土交通省北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所

あがの 阿賀野川の自然

あがの 阿賀野川ってどんな川？

とちぎ 栃木・福島県境の荒海
ざかい 山で生まれた阿賀野川は、
あがの 福島県では阿賀川と呼ば
れ、何本もの川を集めて
にいがた 新潟市で日本
海に注ぎます。流域面積
りゅういき は日本で8番目、長さは
日本で10番目の大きな川
で、1年間に流れる水の量
しなの は信濃川に次いで2番目です。流域は日本有数の水力発電
ちたい 地帯となっています。



あがの 阿賀野川の鳥と魚たち、植物と虫たち

あがの 阿賀野川には、127種の鳥（平成25年調査）と62種の
れいわ 魚（令和2年調査）がいます。冬には多くのハクチョウや
るい 力モ類が、流れのゆるやかな水面で冬をすごします。植物
しゅ れいわ かん ちょうさ こんちゅう しゅ へいせい
物は625種（令和元年調査）、昆虫は954種（平成26年
ちょうさ 調査）もの種類が見られます。

（国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所「河川水辺の国勢調査報告」より）

鳥、魚、植物、昆虫の紹介

【動植物写真提供】国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所、水の駅「ビュー福島潟」、県内水面水産試験場



ダイサギ

灰色のアオサギと並んで日本で一番大きなサギの仲間です。大きな魚をつかまえて、ひと飲みします。



マガモ

冬になると1万羽以上いることがあります。昼間は安全な広い水面で休み、夜になると周りの田んぼに集団でエサをとりに行きます。



ヤリタナゴ

体長8～9cm。体色は灰色で、体の後部に薄青い黒色の縦帯があります。



ニゴイ

河川の中流域を代表する魚類で、各地の河川に普通にみられます。名前は、色合いや形がコイに似ていることから名付けられました。小魚は多いですが食べるとおいしいです。



ミゾソバ

水辺などに生育するタデ科の一年生草本植物。秋に薄紅色の花が咲きます。ヤナギ林の間の湿地に、群落が広がっています。



ベニシジミ

小型で羽は裏表で模様が全く違い、羽は橙黄色の他に黒色斑が点在します。日当たりのよい草原、河川敷に多くいます。



なかす ふうけい 中洲の風景

川岸にはハンノキ、ミズキなどの林が広がっています。また、日本有数のサギたちのコロニーになっています。



カブトムシ

オスの頭に角のあるコガネムシ科の大型甲虫。成虫は夏、クヌギなどの樹液に集まります。



あがの 阿賀野川と人とのかかわり

いかに かわぶね いかに えど 江戸時代の阿賀野川

江戸時代の輸送は現在とは違い、道路ではなく川が中心でした。阿賀野川は新潟港と会津を結ぶ重要な道筋でした。米や塩、木材が運ばれ人も行き来しました。ちょうど中間に位置する旧津川町（現阿賀町）は阿賀野川水上交通の中継点として賑わい、日本三大河港の一つとされていました。



【写真】田辺修一郎氏（三桑市）

生活の一部だった阿賀野川

豊かな水量を誇る阿賀野川は、水運とともに農業用水としても利用され、流域に住む人の多くは、農業と漁業の両方に従事していました。

特に漁業では、季節ごとに様々な魚をとって生計を立てていました。サケ、マス、ヤツメウナギなどは売りに出され、ニゴイ、ウグイなどは人々の重要なたんばく源として、食卓に上がりました。



【写真】「袋網」撮影：田代雅章氏

その他にも、人々は川で流木を拾って燃料にしたり、川の水を炊事や洗濯に使ったりするなど、流域の人々の暮らしは、阿賀野川と密接に結びついていました。



【写真】「ニゴイ魚」撮影：田代雅章氏

にいがたみなまたびょう 新潟水俣病とは？

こんなふうが発生したんだ



にいがたみなまたびょう 新潟水俣病の始まり

みなまたびょう くまもと
水俣病が熊本で1956年（昭和31年）に公式確認されてから9年後、新潟県においても阿賀野川流域で水俣病の発生が確認されました。

1965年（昭和40年）1月、新潟大学医学部附属病院で新潟市の入院患者を診察したところ、有機水銀中毒の疑いがもたれました。同年5月新潟大学の研究者が新潟県に対し阿賀野川の下流域で有機水銀中毒患者が発生しているという報告をしました。そのとき患者は7人で、すでに2人が亡くなっていました。これが第2の水俣病となる「新潟水俣病」の始まりです。

新潟水俣病は各地で発生した公害病とともに四大公害病の一つとされました。



よんだいこうがいびょうめい 四大公害病名	はっせい じ き 発生時期	ひがい ち い き 被害地域
イタイイタイ病	1910年代	と や ま け ん 富山県
みなまたびょう 水俣病	1953年ごろ	くまもとけん か さ し ま け ん 熊本県・鹿児島県
よつ か い ち 四日市ぜんそく	1960年ごろ	み え け ん 三重県
にいがたみなまたびょう 新潟水俣病	1964年ごろ	にいがたけん 新潟県

にいがたみなまたびょう げんいん 新潟水俣病の原因

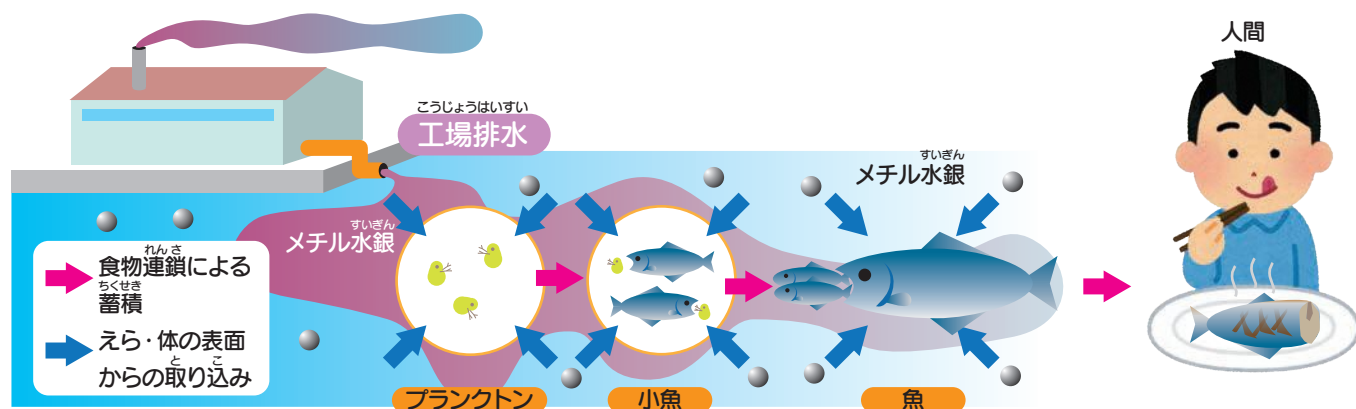
原因を調査したところ、阿賀町（旧鹿瀬町）にあった化学工場、旧昭和電工鹿瀬工場がメチル水銀を含んだ排水を処理しないまま阿賀野川に流していたことがわかりました。メチル水銀で汚された阿賀野川の魚を食べた人たちが病気になったのです。

昭和電工は病気の原因を工場排水ではなく、新潟地震で流出した農薬が原因だと主張しました。この原因を巡る対立は、結果的に発生原因の確定を遅らせる要因になりました。

メチル水銀が人体に取り込まれるしくみ

水俣病は工場排水に含まれていたメチル水銀が原因で起こった公害病です。

阿賀野川のプランクトンに取り込まれたメチル水銀は、川魚の体内で高濃度に生物濃縮され、この魚をたくさん食べた人たちが水俣病になってしまったのです。



※自然界には、食べたり食べられたりという生物同士の関係があります。この関係を食物連鎖といいます。

救済を求めて

新潟水俣病が発生した後、原因の究明がなかなか進まなかったことなどから、被害者の人たちは、救済を求めて1967年（昭和42年）に訴訟を起こしました（新潟水俣病第1次訴訟）。この裁判は、日本で最初の本格的な公害裁判で、後に全国各地で起こされた公害裁判に大きな影響を与えました。

一方、国や新潟県では、被害者を救済するため、法律や条例をつくり、様々な対策に取り組んでいます。

新潟水俣病の教訓を伝えるために

新潟県では、2001年（平成13年）に「県立環境と人間のふれあい館」を開館し、さらに、2008年（平成20年）には「新潟水俣病地域福祉推進条例」を制定して、水俣病に対する誤解や偏見をなくするための取組や、水俣病の教訓を次の世代に伝えるための活動を行っています。

新潟水俣病の被害者団体は、小中学生を対象に新潟水俣環境賞作文コンクールを実施しているほか、患者さんの中には、語り部として水俣病に対する誤解や偏見をなくす取組に協力している人がいます。

みなまたびょう

水俣病の

しょうじょう

主な症状は？

- 手足がしびれる
- 手がふるえる



- 耳が聞こえにくい



- 味やにおいがわからない
- 言葉をうまく話せない



- 目の見える範囲が狭くなる
- 動きがぎこちなくなる、ふらついてうまく歩けない



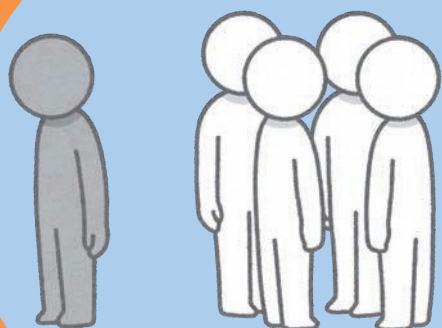
みなまたびょう しょうじょう ていど
水俣病の症状やその程度には
こじんさ
個人差があって、一人ひとりちがうんだよ

分かってもらえない

しょうじょう

症状のつらさ、体の苦しみ

- ・「いったい、どこが悪いの？」
- ・「歌が歌えるのなら水俣病でないんじゃないか。」
- ・仕事を休むと「のめしこき（怠け者）」
- ・「元気なのに、水俣病のふりをしている。」



地域の絆を裂く偏見の恐ろしさ

- ・「おい、水俣病が来たぜ。ミナだ、ミナだ。」
- ・「患者の家に嫁にやっちゃだめだ。孫の代までたたられる。」
- ・「あそこの家では病人を出して金儲けをしている。」
- ・「魚を取り過ぎたから、たたたりだ。」
- ・「お前の家では、うつると怖いからお茶も飲めない。」
- ・「ニセ患者が、金欲しさに裁判おこしている。税金どろぼう。」

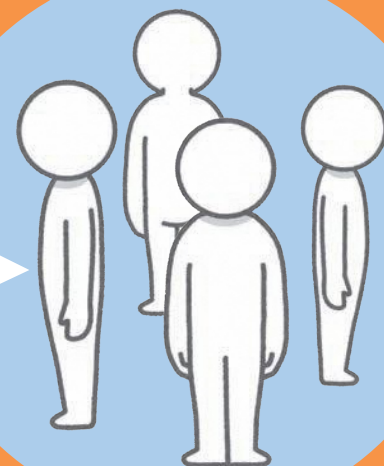
家庭の中でも…

- ・子どもまで差別を受けることを恐れ、家族にさえ秘密にしていた。
- ・家族にも知られたらどうしようかと思うことがある。

しんせき

親戚からもいやみを言われる

- ・「あまりテレビに映されるな、みば（かっこう）が悪い。」
- ・「結婚がだめになるぞ。」



水俣病は、被害者の健康を奪っただけでなく、
地域や家庭の絆さえも壊してしまったんだね



よみがえった あがの 阿賀野川

あがの阿賀野川の水銀汚染が確認されてから、新潟県では、阿賀野川の川魚を食べないように指導するとともに、病気が発生した地域を回って健康調査を行いました。水銀の影響を取り除くため、公害の原因となった工場は排水口付近で川底の土砂を取り除く工事を行いました。

その後、川や川底、魚の水銀の検査を進めた結果、新潟県では、1978（昭和53）年4月に安全宣言を行いました。

現在の阿賀野川では、河川公園はスポーツやレジャーを楽しむ場になっています。1年を通して美しい景色は、そこに住む人々や流域を旅する人をひきつける魅力に満ちています。

にいがたみなまたびょう あがの 新潟水俣病と阿賀野川が わたくし 私たちに教えてくれたこと

かんきょう お せん
環境汚染の問題は人間の活動から生じるもの。

ゆた かんきょう
豊かな環境を守り次の世代へ引き継ぐために

は、わたくし自身が環境を汚染しないことを心が
けなければなりません。

にいがたみなまたびょう
新潟水俣病の発生は悲しい出来事でした。

人と自然のかかわりや、人と人とのかかわり
について考えていきましょう。



新潟水俣病が教えてくれたもの ～豊かな阿賀野川の自然と人～

編集者：新潟水俣病教師用指導資料作成委員会

発行者：新潟県（環境と人間のふれあい館）、新潟市

（令和4年7月印刷）



いくつ
わかった？

クイズのこたえ

① かの せ
鹿瀬ダム

東蒲原郡阿賀町鹿瀬



② きつね よめ い やしき
狐の嫁入り屋敷

東蒲原郡阿賀町津川 3501-1
TEL:0254-92-0220



③ あ が じ ぞう
阿賀のお地蔵さん

阿賀野市千唐仁



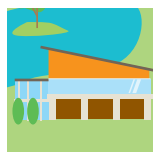
④ やすだがわら
安田瓦ロード

阿賀野市保田



⑤ かんきょう
環境と人間のふれあい館

新潟市北区前新田字新々田乙364-7
TEL:025-387-1450



⑥ まつはまぎょう
松浜漁港

新潟市北区松浜

